

## ■ 美濃加茂市立太田小学校

### 1 児童の歯・口の実態

本校は、学級数は23学級（内、特別支援学級6学級）、児童数は578名である。「歯・口の健康づくり」を健康教育の柱にし、学校歯科医・学校・PTAが連携した歯・口の健康づくり（はっぴー活動）やフッ化物洗口を始めて11年目になる。その成果は、1日3回以上歯をみがく児童が8割を超え、DMFTが低下するなどデータにも表れてきた。しかし、むし歯が減少する一方、口腔の清掃や歯肉の健康に問題がある児童の割合は高く、歯・口の状態がよい児童と、指導と管理が必要な児童との差が顕著になってきた。また、在籍1割を超える外国籍児童にハイリスク児童が多い。

#### 歯・口腔の健康診断の流れ(年2回 春・秋)

- ① 全体へのアプローチ 歯・口の保健指導  
(歯科衛生士・養護教諭) 掲示物
- ② 歯・口腔の健康診断・個別指導(学校歯科医)  
担任も一緒
- ③ はっぴー審査(学校歯科医)  
はっぴースタンプ  
結果用紙作成(歯科衛生士) 当日持ち帰り
- ④ 個別指導…結果,C,CO,G,GOなど(養護教諭)  
学校歯科医の一言指導
- ⑤ 歯みがき指導・治療の勧め(担任・養護教諭)

### 2 指導の願い

ハイリスク児童が、自己肯定感を高めながら、歯みがき技術が向上していく指導を目指す。この指導は、本校が推進している「はっぴー活動（歯・口の健康づくり。親しみやすく、幸せを願って命名）」の一環である。

### 3 取組の内容

#### (1) 歯科健診から始まる担任による指導 **歯みがき意欲・受診率の向上**

学校歯科医の協力により、春と秋に歯科健診を実施している。職員研修では、学校歯科医より歯科健診の意義やCO、COS、GO、歯肉炎の見分け方について学んだ。担任は学校歯科医の横で、一人ひとりの口腔の健康状態を確認し、学校歯科医による指導を児童と共に受けることで、担任が「口の中が気になる子」という意識を持って、ハイリスク児童への給食後の歯みがきや歯科指導時の声かけや、養護教諭が発行する年6回の治療の勧めを保護者に届けるようになった。



健診を見守る学級担任

#### (2) はっぴー教室 **歯みがき技術・自己肯定感の向上**

11月の歯科健診の結果から、個別指導が必要と思われる児童に、「はっぴー教室」をロング昼休みに実施した。



歯科衛生士によるグループ指導

#### 【日 時】

1 2月10日(火)昼休み第1～4学年

1 2月18日(水)昼休み第5・6学年

#### 【対象児童】 対象者は検診結果から学校歯科医と相談した

- (1) 乳歯にむし歯が3本以上
- (2) 永久歯にむし歯が1本以上
- (3) 永久歯にCOが2本以上
- (4) 歯垢2の児童



養護教諭による指導